

# 弓道ながの

第84号

発行：長野県弓道連盟  
会長 松島貞治  
〒399-1801  
下伊那郡泰阜村4139  
TEL0260(26)2628  
編集：県弓連広報部  
印刷：(株)成進社

## 巻頭言

### 長野県弓道連盟の課題

長野県弓道連盟会長 松島 貞治



令和五年の新年を迎えおめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。会長に就任し、ほぼ二

年間、コロナ感染拡大の波が繰り返され、何もできなかったような感覚で時間が過ぎていきました。それでもできる範囲で県連事業に関わってきて少し課題も見えてきました。これからの県弓連を考えると会員一同が課題を共有しておく必要があります。そして、みんなのでよい方向を目指していく努力をしていかれると思います。

まず、一般の会員数ですが、平成五年から十二年ころの1600人前後がピークで、現在は、1220人です。約400人減少しております。また、高齢化も進んでおります。会員減少の影響ですが、まず支部の運営が大変になること、県連では会費収入が減少します。それに見合った運営にしなければなりません。まずは、一般会員の減少カーブを緩やかにする、これが課題です。ただ、高校生を中心に学生はほぼ横ばいで、県連の4千人を超える弓道人口はこれによって支えられています。今まで以上に、高校生を中心に学生を大切にしていきたいでしょう。もう一つ、ここ数年、称号、高段の合格者が減っています。また、四段以下の地方審査のレベルも下がっているように感じます。射技の向上は、一朝一夕にできることはありませんが指導部を

中心にその対応も考えていきたいと思います。会員減少に伴う収入減については、支出の見直しで対応する以外にありません。今後、賞金、報酬、手当等見直すこととなります。また、全弓連の指導では、税務対応も課題です。審査料の消費税は、全弓連対応ですが、県連の報酬、手当の源泉徴収は、待ったなしといった状況です。

一方、外へ向かっては、公益財団法人としての役割が求められ、国民に理解されるために開かれた弓道連盟に、といわれます。弓士だけの世界でなく県民に応援してもらえような連盟にしていく課題もあります。そんな視点で見れば、例えば、松本城大会のような事業は、弓道のPRも含め素晴らしいと思います。課題を抱えながらも本年も県弓連、そして弓士の皆様が一歩前進する年であることを祈っております。



#### 「写真の説明」

これは、飯田長姫ライオンズクラブが主催する飯伊地区高校生弓道大会で第41回目となりました。参加費不要で、ライオンズクラブの皆さんが世話をしてくれるありがたい大会です。ライオンズの皆さんも弓のことがけっこう詳しくなっています。こんな応援団が増えてくれるといいなあ、といつも思います。



# 祝 範士昇格特別記念寄稿

新潟県弓道連盟

会長 小林 憲二



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、今年も良い年でありますようお願いいたします。

私事ではありますが、昨年九月に公益財団法人全日本弓道連盟より範士にご推挙いただき、十二月に認証式を終えたところです。公益財団法人全日本弓道連盟のため、後輩のために少しでも力になればと覚悟を決め、責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。

今回二回目の寄稿文を依頼され、さて何を書こうかと少々迷いましたが、日頃感じていることを少し書いてみたいと思います。

今の若いものは……とは、古来より云い古された言葉ですが、今の若いものは指示待ちの人が多くと良く聞かされる話です。実際私もそう感じています。

弓道の大会・審査会などでは、道場内での指示は基本的に出ません。これは皆さんも知っての通りです。場の把

握や気配を感じながら、己を信じ自分の意志で動かなければ成り立たないのが弓道です。練習にしても聞けば教えてくれると考えているのか、自分で工夫し練習したり、他人の良いところを観て盗んだり、という心構えがないように感じます。

とかく指導者は丁寧に教えたがりますが、①自分で考えて課題を決めること②自分の意志で行動できること、ができるように、即ち、指示待ちの若い人たちを如何に自分で動ける人間に導くかが指導する上で大切だと思っています。

昨今、審査会などで『的中が悪い』『的中率が低い』と言われていますが、確かにその傾向はあるように思います。弓道はね

らった所に矢を飛ばし、的に中らなければなりません。稽古の時にその人が何処をねらっているかは、今まではあまり言われ

てこなかったような気がします。

(国体強化などは違いますが)会のねらいは第四のねらいといわれます。矢が的の中心をねらっているのか他の人に見てもらいましょう。そして、ねらった所に矢が飛ぶか見てもらいましょう。会に入ってからねらいが動く人、ねらった所に矢が行っても外れる人などが結構います。射形が変わればねらいも変わりますし、物見の仕方によっても変わります。

基本的な事ですが、本番で緊張するのは当たり前です。観られて緊張するのも当たり前です。緊張から逃げようとする集中力が無くなります。いつも無口な人が本番前に多弁になったら、潰れてしまった証拠です。誰しも緊張しますし、平気な顔をしている高段者でも緊張します。

稽古の心構えとして、まず、緊張す

る自分を受け入れましょう。己の心の中を見つめることも修練の一つです。この頃、大きな弓道場が増え多人数で稽古していても一人練習のような環境になっていくように感じます。昔は、小さな道場で先輩に見られながら緊張でガタガタ震えて引いた記憶があります。今考えれば、それが本番の為の一番の稽古だったように思い出されます。

新型コロナウイルスで、生身の人間の射を拝見する事が極端に少なくなりました。YouTube(ユーチューブ)等で先生方の射を拝見できますが、やはり写真の連続ではあのゾクゾクする臨場感は味わえません。生身の人間が醸し出すあの空気感が早く戻って来てほしいです。





# 八十路を迎えて

長野県弓道連盟名誉会長 外蘭 公毅

全弓連から功労賞を受けるといふことで原稿の要請がありました。これほど対象になるもので特段の感想はありません。昨年五月に八十路に入りました。近況や心情を記して原稿に代えます。

私が六十歳の頃、八十歳になった人に「年々衰えを感じます」と言ったら「外蘭さん私は日々だよ」といわれたことがあった。八十歳を迎えて将に一日一日が勝負と思えるようになってきました。

新型コロナのせいでの二、三年は窮屈な生活を強いられ、年寄りには勿体ない年月に思えましたが、まあ八十年も生きるといろいろあります。戦争、敗戦、終戦の時三才でしたがソ連が日ソ中立条約を破棄し、八月九日に宣戦布告、ソ連兵士が満鉄官舎に土足でドカドカと入ってきたのを覚えてます。今回のロシアのウクライナ侵攻に心底憤慨している一人であります。三つ子の魂です。

満州から命からがら鹿児島に引き揚げてきたのは終戦後一年経ってか

らでした。すっかり弱い体になっていました。

二十歳までは病弱で中学、高校と休学を繰り返して、親もまわりも自分も短命だろうと覚悟をしていた私が八十歳を迎え、まだ大した故障もなく弓が引けていることに不思議さを感じています。

小さい時から武道が好きで柔道もやりましたが、身体的に過激なものはダメとなると弓道しかありませんでした。弓は小さいころから家の周りの竹を切ってきて弓と矢を作って遊んでいたこともあり、決して嫌いではありませんでした。弓道は武道とは見なされない風潮がありましたので(自分でそう思い込んでいた節もあります)、始めるまで時間がかかりました。

一旦始めると生来のめりこむタイプ、以来六十



しめ縄も新たに年末大掃除を終えて例年でしたらこの後忘年会なのですが...

年近く、飽きもせず一途に取り組んできました。すべて弓を優先したように思います、ではなく、しました。本分をわきまえない不良学生、不良社員、不良父親でした。

県連会長を辞め、ゆつくり弓に取り組むようになり、書籍も少し読むようになって、この年になって分かってきたこともあります。「道」がつくものには取り組む体力も必要です。残された時間は多くはありません。残は将に気儘に好き勝手な過ごし方をしています。少しは節制に努めたいと思っています。

令和4年度  
祝射会 表彰者一覧  
《敬称略》

本年度表彰者は以下の弓士の方々です。それぞれの場での活躍をお喜び申し上げます。

### ■秋の叙勲

瑞宝双光章 土川 俊市

### ■全国大会入賞者

○第19回全国中学生弓道大会

JOCジュニアオリンピックカップ大会

・男子団体 2位

長野日大中学校

丸山 志文

宮澤 蒼太

小林 千暉

森本 馨太

長峰 哲

監督

北村ひなた

宮本 史織

奥 菜々美

北條 花音

長峰 哲

○第73回全日本男子弓道選手権大会

4位 清水 北登

○第73回全日本遠の選手権大会

男子3位 岩村 拓生

■昇格・昇段

・教士 宮島さおり

・錬士 松嶋 孝子

久保田 透

久保 正治

高際 和美

■最優秀支部 長野支部



4位入賞

全日本選手権を終えて

須高支部 錬士五段 清水 北登

二〇二二年十月一日、伊勢神宮弓道

場にて第七十三回全日本男子弓道選手権大会が開催されました。昨年の参加人数は二十人であったところ今年は四十九人と増えましたが、依然としてコロナ禍による短縮バージョンであり例年の約半数での開催となりました。

本大会への参加は二〇一八年、二〇二一年に続き三回目で、過去二回は東京明治神宮開催だったので初めての伊勢出場となりました。開会式で雪駄が必要だったり控え室の場所が分からなかったりと戸惑うことがありましたが、初めての雰囲気を楽しみながら試

合に臨みました。

予選はそれなりの手応えがあり上位に食い込めるかと考えていたら、まさかの二位で予選通過となりました。良い緊張感の中で今できる最大のパフォーマンスができたと思います。予選通過者発表の後すぐに召集され慌ただしく決勝が始まりました。もっとじっくり落ち着いて入場すればよかったのですが、慌ただしい気持ちのまま行射してしまい、大きく外してしまいました。切り替えの遅さが悔やまれましたがそれでもなんとか耐えて昨年と同じ四位入賞となりました。今年夏

前から右肘痛に悩まされ満足に練習できない期間が続きました。これまでの弓道人生で弓道起因の長期の怪我は初めてだったので精神的に立て直すことも難しかったです。そんな中でよくここまで来れたというのが率直な感想です。今年一年試合で勝ったこと、試合で負けたこと、怪我で上手くいかなかったこと、一つ一つが大切な経験となったと思います。

最近では早く離したいのを我慢して練習を行っています。会については、今までは早く離したいのを我慢する会でしたが、最近はずいぶんはありますが話し合いの意識して充実した会を目指しています。目づかいに關しては大学時代に恩師から「的から目を離してはいけない」と教わりました。的から目を離したかどうかで精神的な状態の良否を自分で判断できています。また同時に時期にスキー大回転の特集を見ていたらスタートからゴールまで一切瞬きをしない、それは瞬きが油断につながるからであると言っていたのを覚えています。瞬きは生理的なことなので難しいですが、テレビで流れていた「油断につながる」ということが頭から離れず、

練習した結果瞬きをあまりしないようになりました。今後その時々の特集をもって、「小さいことでもまずできることをやる。それを積み重ねる」の精神でこれからも修練をしていきます。

日ごろお世話になっている先生方、弓仲間、三重県弓道連盟の皆様、ありがとうございました。

(写真提供…全日本弓道連盟)



祝

3位入賞

### 全日本遠の大会を終えて

飯伊支部 五段 岩村 拓生

令和四年十月二十九、三十日に第七十三回全日本弓道遠の大会が開催され、長野県代表として出場し三位入賞して参りました、飯伊支部の岩村と申します。

私自身、県内の予選を通過して行く全国大会は初めての経験でした。さらに開催地は東京の全日本弓道連盟中央道場で、まず最初は、会場へたどり着けるか不安でした。幸い、一緒に代表となった三人の先輩方のお陰で無事東京へたどり着く事ができました。本当にありがとうございます。

さて、本題の大会ですが、会場入りし周りを見回しても天皇杯等で活躍している有名な先生方が大勢いらつしやり、普段の試合とは比較にならない程の緊張感、そして、ついに憧れのこの場にいられたという高揚感、嬉しさを胸に感じていました。

試合が始まり予選6射三本目を12時に外し5中となり決勝進出を賭けた遠近競射を勝ち抜き決勝へと駒を進めました。



た。決勝では、かなり緊張するかと覚悟していましたが、いざ射場へと進むと緊張よりも、全日本の決勝で戦える嬉しさが勝り「ここまで来たらもう怖いものは無い」と

開き直って心地良い緊張感の中で弓を引きました。決勝は五本目の日一番良い！と手応えのあった矢が的の12時に外れ10射9中となり、この時点で皆中二名、9中二名でしたので四位以内の入賞が確定して三位決定の遠近競射へと臨む事ができ、この競射を勝ち三位決定となりました。

今回は三位入賞となりましたが、やはり目指していた優勝を逃し非常に悔しい大会の終わりとなりました。これから先、目標とする全日本選手権、また国体を目指し日々精進したいと思えます。



(写真提供：全日本弓道連盟)

### 弓仲間紹介

#### 弓道の教え

梓川高等学校弓道部部长

南嶋 頼人

私が通っている梓川高校弓道部は、現在二年生一人、一年生六人で活動しています。平日は放課後一時間半、休日は九時から十一時まで練習をしています。練習は射込み稽古が多く、部員はそれぞれ時間いっぱい射に打ち込みます。練習には精一杯取り組みますが、時には部員同士で射についてよい部分を褒め合い、気持ち的にも体力的にも集中が途切れないように心がけています。



指導から学ぶこともあり、後輩は先輩や同級生から多く指導を受け、より成長することができると考えています。部員同士も仲が良く、毎日楽しく活動ができています。

私は弓道部での活動を通して、精神力の高め方を日々学んでいます。今まで私は、何かに打ち込む時にあまり熱中できず、すぐ無理だと思つて物事を諦めてしまつたり、気持ち

が疲れて辞めてしまつたりする事が多くありました。私は今、顧問から部活中に「美しい射を意識しなくてもできるようなるまで意識しろ」という言葉をよく投げ掛けられます。「意識しなくてもできるようなるまで」という部分を「強く意識」することで、射形を美しくする精神力を高め、的中率を少しでも良くする努力をできるようになつたと感じています。これから先、弓道だけでなく私生活においても、「無意識にできるまで意識してやる」ことをこれからの抱負にして、困難なことにも立ち向かいたいと思えます。

梓川高校弓道部にはある特徴があります。それは、先輩や後輩、男女など関係なくお互いに弓道について教え合うということ。部員の射の良いところや改善点について、上下関係をあまり出さずによく話をしていきます。上下関係をあまり気にしない分、先輩は先輩の



# おかげさまで

長野支部 教士六段 宮島さおり

令和四年十一月五日に明治神宮至誠館弓道場で行われた定期中央審査会において教士の称号をいただきました。

七月に仙台定期中央審査会で一次通過をいたしました。二次審査で経験・稽古・勉強。沢山の事が足りず不合格でした。

東京での二次審査まで三カ月半、どのようにして気持ちを持っていけば良いのか、途方に暮れていたところ沢山の方に声をかけていただき、励ましていただき、助けていただきました。

また遠方からも稽古に誘っていただいたり、前日まで二次審査の間合いにお付き合いただいたり、本当にありがとうございました。

審査一週間前から矢が揃って入ることはなく、不安なまま当日を迎えました。

初めて出かけた東京審査。少し早く着いたので明治神宮にお参りへ。神宮にはおみくじではなく「大御心(おおみごころ)」というものがあり、引いた大御心には「他の人に遅れても正しい道を踏み誤らないこと」とありました。心のどこかに中てられればと思ってい

た自分がいたのかと恥ずかしくなりました。

控えに座っている時、ふと仙台審査

を引きずったまま翌週開催の北信越錬成大会に向けて稽古をしていた時の事がよぎりました。県の代表に選んでいただいたのに全く中らない。焦っている私に「一生懸命、ただ一生懸命引けばいいんだよ。一生懸命引いて今の自分の射を見てもらう。それだけ。」と送り出してくださいました先生の言葉を。

おかげさまで審査では一つ一つ丁寧に動作することに集中できました。先生いつも本当にありがとうございました。

私が弓道を始めたのは高校一年生の時です。

入学した高校には弓道部はなく、先輩と一緒に同好会を立ちあげました。道場も、道具もなく先生の道具を交代でお借りしていました。個人で道具を揃えてからは弓を片手に、背中には矢筒を背負い長野運動公園まで連日自転車をこぎました。とても弓の上手なお

じさん先生が色々教えてくれる事もあ

り、楽しかったことを思い出します。

再開したのは三十歳に手が届く頃。母が道具を保管しておいてくれた事と長野市の広報で初心者弓道教室開催の記事を目にしたからです。

初心者教室では高校の時にたまに教えてくれたあの弓の上手なおじさん先生が講師でした。

介護で中断や、思うことがあり一期弓を置きましたが、あれから二十四年、あつという間に思えます。

今、週末は文化財の道場で温かな先生・先輩、仲間と和やかに稽古しています。風よけも電気もないので根性と気合が必要です。晴れた日はとても綺麗な青い空が見え、小学生の元気な声が聞こえます。気になった方は、いら

してみてください。

ここ数年は今までと違い窮屈に思う事が増え、配慮や工夫が必要なお仕事も新しい日常になってきています。その中で、健康であること、家族の理解と応援があり、弓を引くことができる。大変幸せに思います。

これまで、周りの方々がとても良くしてくださいました。おかげで今の私があります。私の力は何一つなく、いつも気にかけて助けてくださる先生方・先輩方、一緒に稽古をしてくれる仲間のおかげです。

まだまだ何も足りていない私です。一生懸命勉強いたしますのでこれからもどうぞよろしくお願いいたします。



# 五段講習会を受講して

上小支部 五段 小島 樹

令和四年九月十一日に塩尻市弓道場で開催された五段講習会に参加させていただきました。新津一夫先生、平澤敏弘先生、中村美穂先生の講師のもと全県から五段の受講生二十五名が参加しました。開講式に続いて講師の先生方による一つの射礼を拝見し、先生方全員が甲矢を的中させ、その後の講習で指摘された「相互の間」「息合いに合わせてリズムよく」ができていたというのはこのようなことを指すと感じた射礼でした。

その後、審査の間合いでの一手行射が行われ、講師の先生方からご講評をいただきました。講評では、「目線が疎かになってきている。歩行中に、目線が足元に向いている。入場の際に、的や立札を見ない。」「息合いで動作ができている。動作ももちろんだが、引分けが息合いでできておらずリズムが悪く、的中が弱い。」「動作をするときに腰で回ることを意識する。」等のご指摘をいただきました。午前の残りの時間で、射技講習が行われ、その際には、自分への指摘はもちろんです。他の受講生への指摘を聞いていて自分自

身にも当てはまることや逆に思いもかけない話などを聞いて、非常に刺激的でした。午後は、先生方による講話の後、持的射礼の講習が行われました。講話では、錬士審査の際の面接についてと錬士になるにあたっての話があり、「錬士になるにあたっては、品格、中りと体配、和服の起居動作・身だしなみが求められる。二次審査の際には、審査員を惹きつける様な射ができるように。」という話がありました。また、月刊弓道八月号の中央審査会寸評で多くの審査員の先生方からも言及されていた、「会が一〜二秒では的中させて



も不合格。会が早くてはダメ。」との話をお聞きしました。持的射礼の講習では、基本の間合いで二度行い、細かい動作を始めとして、位取りの際の歩数やポイントを教えていただきました。「大前や落でなくても、自分自身が先導して動作を行うつもりで準備をしていることで、相互の間が合い呼吸に合わせて動けるようになる。」とのご指摘をいただきました。その後、仕上げの一手行射を行い、講習会の全日程が終了しました。

最後になりますが、熱心に指導してくださった講師の先生方、弓道場の準備、矢取をしてくださった塩尻市弓道場の皆様、また、取りまとめ、司会進行をしてくださった上條寛先生にお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

## 謹賀新年

遠的ダンボール白黒 (79cm・100cm)  
 遠的ダンボールカラー (100cm)  
 遠的紙カラー貼り合わせ (100cm)

〒380-0935  
 長野市中御所1-12-5  
 TEL ▶ 026-228-3443  
 FAX ▶ 026-223-4855  
 通常 ▶ 8:00~18:00  
 日・祝 ▶ 8:00~17:00  
 定休日 ▶ 月曜日

全日本弓道具協会会員



### 有限会社 中島弓具店

URL ▶ <http://www.nakajima-kyugu.com>

E-mail ▶ [info@nakajima-kyugu.com](mailto:info@nakajima-kyugu.com)

## 教士講習会を受講して

上小支部 教士六段 高地美佐子

令和四年十月十六日、長野運動公園弓道場に於いて、教士講習会を受講いたしました。

講習会当日、受付でいただいた日程表を見るといつもの講習会で目にする「射技指導」の四文字が全て「射礼研修」となっていました。これだけで今までの講習会とは違うんだと感じました。これについては杉田先生から、「教士なのだから射技指導はもういいでしょう。講習会というより研修会としたい」とお話がありました。そのためか講習会が進んでいくと、受講生同士でも指摘し合う場面も見受けられました。

さて礼記射義・射法訓の独唱から始まり、矢渡は全員女性で行われました。これも杉田先生の提案だったそうで、いつもの矢渡とは全然雰囲気違って女性ならではの気遣いを感じられ静かな中にピンと張りつめたものがありました。

このあと全員が審査の間合いで一手行射を行いました。その講評として杉田先生からは、体配は概ねできている、射に関しては形を作ろうとして手先で引いている、弓は受けるだけで持たない、手先の力でどうにかしない、でき

ないこともあるができる回数を多くすること、「教士」とは自分の弓を見つめること等々。

また新津先生からは、「今年はいろいろな講習会をやってきましたが、さすが教士」との第一声から始まりましたが、足踏みの角度は右足が開きすぎる、射に關しては力が入り過ぎ、矢尺が取れていない、など講師の先生方の講評は全て思い当たることばかりで、これからの日々への稽古はやるべきがありすぎて不安な気持ちになってしまいました。

この後の講話では、まず富山県での臨時中央審査会のお話から始まりました。入場で上座に対しての礼や揖の顔の向き体の向きを例に挙げ、体配は本人のやる気が一番でその上で教士がしっかりと指導すること、これは自分のためにもなりますとお話しされました。

以前、こうしてみたらと声をかけた人に「できません」ときっぱり言われたことがあります。「我が道を行く人」だったようです。新津先生は普段の稽古で目についた事は伝えると話されました。道場内で自然に指導を受けたりしたりする環境が一番いいと感じました。そして後半は一つの研修でした。

受講生それぞれが三人一つの、二人一つのができるよう組んでいたという射礼研修を行いました。

今回、講師の先生方のお話を中心に書かせていただきました。これを読んで自分も思い当たるといふ方がいると思います。ここに書いたことはほんの一部ですが、これからの稽古の参考になればいいと思います。

最後に、受講生が講習会に専念できるようにと矢取り等、長野支部の会員の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 明けましておめでとうございます

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)  
12人立2ヶ所  
遠的道場 1ヶ所

弓道合宿予約随時受付中!

## 帝産ロツヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは0267-98-2861



# 私と弓道

小諸支部 四段

モントウシエ・ユベール

外資合弁会社の経営再建のために神戸に来たのは一九九四年だった。その半年後に起きた阪神淡路大震災と地元でその後を経験したのが自分にとって初めて日本文化に接した時だったと思う。当時私は過密な仕事スケジュールに忙殺され、日本文化に関連した活動などできる贅沢は許されなかった。

弓道に興味があると妻が言い出したのはその十数年後だった。私は母国フランスで十六歳からアーチェリーを数年かじっていたが次第に興味を失いやらなくなっていた。一緒に弓道を始めようという提案は、再び興味を呼び覚ますことになる。

手始めにと明治神宮至誠館に見学に行く、日本人と外国人の生徒が混じって道場に入る足運びを教わっているところだった。教えていた先生はこうした決まった動きを最低数ヶ月、それから初めて弓に触ることができると説明した。武道で

ある弓道の前知識なしに見学に行ったら私は、自分のやる気に蓋がされるのを感じ、その日で辞めてしまったことを白状する。妻はその後何度か通ったが、忙しい仕事と時間の折り合いがつかずに立ち消えになった。

二〇一四年轻井沢移住後数年が経ち、再び弓道に触れたいという気になり、神津玄照先生を紹介された。先生はいとも自然な流れで基礎段階から稽古ができる段階まですみやかにご指導くださった。アーチェリーと違い弓道には別の次元と言ったらよいのだろうか、広がりや深みがあり哲学的経験さえできるものだとすぐに感じた。絶対に辿り着けない完全なるものを求めて、道を歩み始めたのだった。すると日常生活に変化が起き、ものの考え方や達成感の向上の助けになっているような気がする。心と身体の調和を探し、自分の人生が鏡に映し出されるような品格のある素晴らしい射が体現できるよう各自が自分自身に挑戦していくのだ。

この挑戦は外国人の私にとって思いがけずいくつかの壁にぶつかると

事になった。言葉の問題がまずそれだ。これまで英語で全く問題にならない環境にいたため、私は周囲の人達、特に妻には多くの迷惑をかけ続けているが、みんな私の挑戦を驚くほど無条件の優しさで支えてくれている。外国人が手にすることのできる弓道関連本も極端に少ない。弓道教本ですら一巻が翻訳されているだけだ。それでも次々に現れる壁に真っ向からぶつかったり、跳び除けたりしているうちに弓道に夢中になってしまった。武士道(新渡戸稲造著)などの本を通じて武道としての弓道を次第にもっと理解できるようになり、自国文化との共通点なりを見つけるのに役立っている。

弓道は終わりなき道、腹立たしい時もあるが、やっていて良かったと思えるご褒美のような時もある。



# 大会結果

## 第73回 全日本男子弓道選手権大会

○令和4年10月1日(土)

■男子の部  
4位 清水 北登

## 第65回 松本市市民スポーツ大会

『秋季大会』弓道大会

○令和4年10月10日(月・祝) 松本市弓道場

参加人数…高校生16名、一般30名

■個人の部(予選4射、決勝4射 計8射)

▲高校女子

- 1位 小池 美織(松商G)
- 2位 福井 理沙(松商H)
- 3位 小瀬 美紅(松商F)

▲高校男子

- 1位 畠中 唯人(美須々男子A)
- 2位 武田 直玖(縣陵男子A)
- 3位 佐々木健汰(松商B)

▲一般

- 1位 関 正幸(松本弓道会G)
- 2位 神通川浩一(松本弓道会G)
- 3位 小越 剛(松本弓道会J)
- 4位 吉江 美佳(松本弓道会A)
- 5位 田村 淳(松本弓道会I)

## 第20回 千曲市長杯弓道大会

○令和4年10月16日(日) 千曲市弓道場

参加人数…一般12名

■個人の部(8射)

- 1位 窪田 和恵(千曲)
- 2位 中野 孝志(千曲)
- 3位 保木野克海(千曲)
- 4位 酒井 伸雄(千曲)
- 5位 若林 誼(千曲)

## 2022 信州ねりんピック弓道競技

○令和4年10月22日(土) 伊那市武道館弓道場

参加人数…45名  
個人(8射)

- 1位 高木 涼子(上小) 6中
- 2位 小堀 博司(上小) 6中
- 3位 笠井 信夫(長野) 6中

■最高齢者賞(男女一名)  
男性 今井 勉(上伊那)  
女性 谷 敏子(天北)  
ねんりんピック愛顔のえひめ2023  
出場長野県代表選手監督

- 監督 神通川浩一(松本)  
選手 小堀 博司(上小) 笠井 信夫(長野)  
神通川浩一(松本) 菅沼 明彦(飯伊)  
町田真由美(松本)  
交代 三石 正博(飯伊) 埴原加代(上伊那)

第73回 全日本弓道遠的選手権大会

令和4年10月29日(土)

男子の部  
3位 岩村 拓生

第33回 国宝松本奉射弓道大会

令和4年11月3日(木・祝) 松本城の丸御殿跡特設射場  
参加人数…156名

- 個人(の部)奉射…一手、決勝…射詰競射
- 1位 岩村 拓生(長野県)
  - 2位 鳥居あゆみ(長野県)
  - 3位 望月 悟司(愛知県)

第20回千曲市長杯弓道大会高校の部

令和4年11月3日(木・祝) 千曲市弓道場  
参加人数…134名

- 団体の部(24射)
- 男子
- 1位 長野日大B(古川智颯、水野祐樹、阿部晃大) 15中
  - 2位 長野吉田B(降旗一衡、中野太暉、石井伯音)
  - 3位 松代(片山瑛紀、山口勝海、北城拓海)
  - 4位 長野西B(篠井聡哉、原田皓成、佐久間大晴) 10中

- 5位 文化学園長野A(栗林航平、松本昂英、鮎澤春希) 8中

- 女子
- 1位 長野日大A(山本美沙季、峯村百合亜、松木陽奈)
  - 2位 篠ノ井A(中澤凜、宮嶋遙佳、竹内結彩)
  - 3位 長野吉田A(霜田結花、祖堅七星、松本春花)
  - 4位 長野日大B(小林ひな、宮尾優亜良、山崎桃子)
  - 5位 長野日大B(吉池莉唯、松本千鶴、山本りさ)

第52回北信越弓道選手権大会

令和4年11月6日(日) 福井県立武道館弓道場

総合優勝 長野県  
団体の部

- 男子有段者
- 1位 長野県(岩村拓生、蟹澤契太、藤森千友貴)

- 女子有段者
- 2位 長野県(馬場絢音、萱沼あすか、藤澤敏恵)

- 称号受有者
- 1位 長野県(小田切祐典、中村健二、亀岡英司)

- 個人(の部)
- 男子有段者
- 1位 岩村 拓生 3位 藤森千友貴

- 称号受有者
- 1位 小田切祐典 2位 中村 健二

第62回信州上田城弓道大会

令和4年11月13日(日) 上田市城跡公園弓道場  
参加人数…一般77名

個人(の部)(8射)

- 1位 塚田 混巳(上田城A) 7中
- 2位 檀上 真成(信州大学B) 7中
- 3位 宮木 光広(信州大学A)
- 4位 坂口 光広(上田城B)
- 5位 保科 良介(上田城A)
- 6位 竹内 博敏(上田城B)

- 7位 小島 樹(上田城A) 5中
- 8位 小坂井規恵(上田城D) 5中
- 9位 山口 泰(上田城D) 5中
- 10位 丸山 温(丸子) 5中

- 団体の部(24射)
- 1位 上田城A(小島樹、塚田混巳、保科良介)
  - 2位 上田城B(竹内博敏、藤澤佐絵子、坂口光広)
  - 3位 信州大学B(村上颯一郎、内山茉愛、檀上真成)

- 個人(の部)(金的)
- 塚田 混巳(上田) 藤澤 英輝(丸子)
  - 内山 茉愛(信州大学) 小坂井規恵(上田)

昇段昇格者

関東地区「臨時中央審査会」

六段の部 井熊 邦弘(飯伊支部)

北信越地区「臨時中央審査会」

錬士の部 高際 和美(松本支部)

東京「定期中央審査会」

教士の部 宮島さおり(長野支部)

令和4年度推薦結果

錬士の部 久保 正治(長野支部)

訃報のお知らせ(敬称略)

長野県弓道連盟 飯伊支部  
 参段 今村東一郎(91歳)  
 令和4年10月19日(水)  
 ご逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、  
 お知らせ申し上げます。

秋の叙勲

瑞宝双光章

土川 俊市(教士八段、木曾支部)

表彰

全日本弓道連盟  
 令和4年度 功労者表彰

功労者表彰(個人の部)

松島 貞治(教士六段、飯伊支部)

山田 鏗二(五段、大北支部)

勇退地連会長

外薮 公毅(教士七段、上伊那支部)

kyudo

「ひとりごと」のスペースをお借りし、広報部よりお知らせを致します！ ホームページへの掲載依頼のアドレスを一本化致します。

editor@kyudo-nagano.jp

こちらを広報部公式アドレスと致します。ホームページへの掲載依頼は、全てこちらへのアドレスをお願い致します！ ニアミス防止のため、このアドレスにお送り頂いた情報はホームページ担当者で部長が情報を共有致します。情報の掲載を迅速にできますよう担当者も努めておりますが、万が一掲載が遅いようでしたら、お問い合わせをいただければ…と思います。

広報紙もホームページも、掲載される情報が少しでも皆様のお役に立てばよいと存じます。

何かお気づきのことも、先ほどのアドレスへ、ぜひ!!お寄せいただけますよう宜しくお願い致します。

広報部 中田美千